

学校保健

平成19年3月

No. 266

(財)日本学校保健会ホームページアドレス
http://www.hokenkai.or.jp/



JAPANESE SOCIETY
OF
SCHOOL HEALTH

(財)日本学校保健会

未来を生きる—すべては子どもたちの健康のために

受賞85校讃える表彰式開催

21世紀・新しい時代の 健康教育推進学校

—平成18年度—



一般

健康教育普及のひとつとして実施しているこの表彰事業は5年目。今年度は2月15日、東京・文京区の日本医師会館において、表彰式を開催しました。当日は最優秀校の実践発表も行い、不登校児ゼロや家庭・地域との連携での成果を挙げた学校もありました。

主な紙面

学校表彰最優秀校紹介……………2 3
健康教育をささえる
歯科医の現場から……………4 5

子どもとメディア(一面つづき)……………7
保健主事のこれから……………10
PTAの健康教育実践……………11 12 13

子どもとメディア インタビュー

チャイルドラインからみえる子どもの心

NPO法人子どもとメディア代表理事
NPO法人チャイルドライン支援センター代表理事
日本子どもNPOセンター常務理事

清川 輝基氏

「NPO法人チャイルドライン支援センター」では昨年秋の1カ月間、27都府県35団体参加によるフリーダイヤルのキャンペーンを実施しました。子どもたちからのアクセスは93,540件、回線数の都合上11,203件の電話を受け止めることができましたが、その一割が「いじめ」の問題を含めた人間関係についての相談でした。

今回のキャンペーンでは、人間関係だけでも、「子どもの世界は昔とは変わっている。まず大人が現状を知る必要がある」「子どもの心の居場所がない」「子どものコミュニケーション能力の欠如」「いじめが流動的である。いじめっ子を排除するのではなく、いじめを皆で考えることが大事」「話せる大人がいないことは大問題。本気で子どもたちの話を聞く仕組みづくりが必要」「子どもの問題は大人の問題。社会全体で考えていくべき」といった問題点が見えてきました。私は特に「コミュニケーション能力欠如」の問題について、メディアの影響を強く感じています。(7面へつづく)

乞御回覧

校 長	教 頭	保健主事	養護教諭	学校栄養職員	PTA	会 長	副会長
-----	-----	------	------	--------	-----	-----	-----

PTA

今号には、別刷「未来への架け橋」を差し込んでいます。学校・保健だよりによりコピーするなど、健康教育の推進に広く保護者や地域の方々までご覧いただけるようご活用ください。

平成18年度 学校表彰

21世紀・新しい時代の健康教育推進学校 最優秀校紹介

(最優秀校・優秀校の実践は、これからの健康教育に活かせるよう「21世紀・新しい時代の健康教育推進学校の実践―第5集―」として本会より発行(3月予定)します。是非ご覧下さい。)

見つめよう! いのち・からだ・こころ

～輝く子どもの育成をめざす健康教育～

岩手県一戸町立一戸南小学校

心身ともに健康でたくましい子どもの育成をめざし、保護者、学校三師、地域の方々にご協力いただき、健康教育を進めてまいりました。児童一人ひとりが、元気で明るく成長できるよう、継続して取り組んでいきたいと気持ちを新たにしております。



学校歯科医も児童の集会と一緒に参加

子どもの体力の向上と生涯にわたって充実した 生活を送るための健やかな心と体づくり

群馬県中之条町立中之条小学校

健康教育推進部会(保健・安全・給食・体育)で、町の母子保健計画と連携した「健康教育推進計画」の実現にむけ、指導内容や指導場を明確にした健康教育に取り組んでいます。健康な子どもが育つ「環境づくり」が今後の課題です。

見つめよう・そだてよう 心と体

～教育活動全体を通しての健康教育の実践～

埼玉県川口市立領家小学校

この度、小規模学校の地道な取り組みを評価していただきました。今後とも「みつめよう・そだてよう 心と体」の健康教育つまり、人間教育を教職員・保護者・地域とともにより一層推進していく覚悟です。



「明るく元気、明化の子」の健康づくり

東京都文京区立明化小学校

本校教育目標「やり通す心と体」は、規則正しい学校生活を支え、生涯を通して健康で安全な生活を送るための目標である。出席率の安定と不登校ゼロ、健康で明るい子どもたちの笑顔は「今日が楽しく明日が待たれる学校」の原動力となっている。

笑顔が輝く学校づくり

～「人・もの・こと」と豊かにかかわり合う活動を通して～

熊本県熊本市立出水南小学校

本校実践の特徴は、「心温まる養護学校との交流」や「ちょボラ(ちょっとしたボランティア)活動」「子どもがつい動きたくなる場の工夫」など、児童の生活そのものに焦点を当てていることです。大規模校ながら、不登校児童が一人もいないことが成果の一つです。





家庭に働きかける学校保健委員会をめざして ～小中連携を基盤に～

岩手県二戸市立金田一中学校

学校三師の協力のもと、小学校と合同学校保健委員会を開催し、「家族の日」を中心に健康課題に取り組んできました。これからは健康について家族で学び、家族のコミュニケーションが深められる活動になるよう努力していきたいと思います。

生きる力を育む学校保健活動の推進 ～生徒から生徒へ広がる健康教育～

香川県立高松南高等学校

本校では、生徒保健委員が健康問題や環境改善に関し主体的に研究を行い、その成果をクラスや学校全体に広げていくことにより生徒同士で啓発し合う健康教育を推進できると考え、生徒保健委員会活動を軸とした学校保健活動に取り組んでいる。



作成した性に関するQ&A冊子の活用について、担任に説明する保健委員



社会自立を目指した健康教育

群馬県立前橋高等養護学校

障害や疾病のある生徒がひたむきに努力している学校として、この受賞を大変嬉しく思います。ノーマライゼーションの理念の基、卒業生が社会生活により良く適応できるよう、これからは社会自立を目指した健康教育に力を注ぎたいとします。

審査を終えて

審査委員会小委員長
吉田 瑩一郎（日本体育大学名誉教授）



心も体も「元気」が出る学校づくりへ

第5回目に当たる今年度の審査対象校は、小学校57校、中学校20校、高等学校6校、養護学校2校の計85校であった。

審査は、提出された資料に基づく書類審査と実地審査によって行ったが、書類審査では、優良校と優秀候補校の選考を行った。その結果、推薦のあったすべての学校がそれぞれの校種で「優良校」の水準に達し表彰に値することが認められた。

そして、それらの学校の中から秀れた活動を展開し成果を挙げている優秀候補校小学校12校、中学校4校、高等学校1校、養護学校1校を選び、実地審査を行った。その結果、「最優秀校」として小学校5校（小規模校1、中規模校2、大規模校2）、中学校1校、高等学校1校、養護学校1校を選考した。

今回の審査を通して感じたことの第1は、学校経営方針に「元気の挨拶と歌声が響く学校」「優しさや思いやりの行動があふれる学校」（一戸南小学校）、「笑顔が輝く学校づくり」（出水南小学校）といったように、健康な学校像をイメージできるようにしている学校が目立ったことである。そして、このような学校の場合、「すこやか 学習づくり」「すこやか 心づくり」「すこやか 体づくり」「すこやか 環境づくり」（頌家小学校）のような切り口を設定して、健康な学校づくりへの道筋を明確にし、教職員をはじめ家庭、地域社会がそれぞれに役割を分担した活動が組織的に展開される可能性が高いように思われた。

第2は、活動状況調査票Ⅱ-2の「学校保健（安全）計画」についてであるが、この計画は学校の教育目標や年度の重点に即して学校保健活動と学校安全活動の年間を見通した総合的基本計画、すなわち「学校保健計画」「学校安全計画」として別々に作成すべきものである。しかし、推薦された学校の中には、学校保健安全計画として立案している例も少なくなく、保健管理・安全管理、保健教育・安全教育、そして組織活動を内容とする年間の基本計画として改善充実が図られることを期待したい。その際、特に保健教育（保健学習・保健指導）、とりわけ、行動変容を期待して学級で行われる保健指導の月別・学年別の内容の充実と題材名の工夫改善を望むものである。（本会発行の「保健主事の手引（3訂版）」を参照されたい。）

第3に、学校保健委員会についてである。実地審査で公開して下さった学校は少なかったが、筆者が参観した一戸南小学校、金田一中学校、寄島中学校の組織・運営は、家庭・地域社会の教育力を充実する観点から、学校と家庭・地域社会を結ぶ組織として学校保健委員会を機能させていた。

一戸南小学校は、年間5～6回開催し、すでに家庭や地区ごとの「すこやか会議」が持たれるなど、健康の輪の広がりや活動の深さをにじませていた。

また、金田一中学校は、小学校と合同の「小中合同学校保健委員会」に取り組んでいた。生徒の健康課題が小学校と同様「生活習慣病の予防」であり、課題克服のために家庭における食生活と健康生活習慣改善への取り組みが必要であるとの共通認識に立って、平成15年度から始めているのだという。そのために小学校と合同の事務局を設けて活動計画を立案し、会議の運営をはじめ、事後の活動として「家族の日」を設定して「家族すこやか会議」を提唱したり、親子料理教室を開催するなど、健康な家庭づくり・地域づくりを推進しているのだという。中学校の果たす役割の大きさを改めて痛感させられた次第である。

第4に、高松南高等学校の生徒保健委員会の主体的活動を軸にした実践に注目したい。同校では、生徒保健委員会に研究班を設け、多くの生徒が当面している健康問題（例えば性）について継続性と発展性のある研究活動を展開し、その成果を「LOVEコミュニケーションノート」として冊子にまとめ、生徒に配布するだけでなくLHRにおける性教育指導の学習材として広く活用されているのだという。

また、前橋高等養護学校の、生徒一人一人の状況に応じた小集団による歯・口の健康づくりや性の指導などの充実した歩みに対しても心から敬意を表したい。

シリーズ ⑧

「健康教育をささえる」～「学校歯科医」の現場から～

日本大学歯学部研究所 赤坂 守人

1. 「小学校歯の保健指導の手引き」から「生きる力をはぐくむ学校での歯・口の健康づくり」への転換

わが国の学校歯科保健活動は、子どもの疾患の中でも最も被患率が高かったむし歯への対応の歴史とも言って過言でない。むし歯の早期発見に努め、治療勧告をすすめ、いかに処置率を高めるかといった、保健管理を中心とした活動が長い間続いてきた。そして事実、実践活動によって、具体的な成果を挙げてきた。

昭和53年文部省は「小学校歯の保健指導の手引き」を発行し、これを契機にして実践事業として全国的に「むし歯予防推進指定校」が展開されることになった。この活動を通して、児童のむし歯の予防に限らず、よりよい学校づくりにも大きな効果をあげることを実証してきた。「小学校歯の保健指導手引き(改訂版)」の中に「歯みがきの学習は、問題発見・問題解決学習である」と記されているように、歯の保健指導はいかに教育と深く関わっているかを示した。現在では「児童生徒の歯・口の健康づくり」として、実践活動が継続されている。

近年、子どものむし歯被患率はかなり減少しており、その進行状態も慢性化、軽症化している。すなわち、わが国の小児の口腔内環境はかなり改善してきた証拠とも言えよう。このような状況の一方では、現代の幼児児童生徒を取り巻く社会環境の変化とともに、新たな歯および口腔の健康課題が生じてきている。例えば「食べる機能の低下」、「スポーツなど怪我による外傷」、「歯周病の低年齢化」、「歯列不正への関心」などである。平成6年度の学校健康診断改正は、従来の疾病志向から、健康志向に大きく転換し、早期発見・早期治療の時代から、より健康度を高めていく時代に変化していく契機となった。そして、学校歯科健康診断では、新たにCO・GO、歯列・咬合、顎関節の診査項目が導入されるなど、本来のスクリーニング診断を明確にし、診査結果を基にした事後措置を通じ、さらに健康教育を重視する流れへと転換が図られている。

今日、「健康日本21」が掲げられ、「健康増進法」を基に国民の健康増進を生活習慣対策として進め

ようとしている時代にあって、また、現代の学校保健が生涯の健康の基礎づくりを目指すという視点からも、子どもの歯・口の健康づくりの新たな課題として、「歯周病」や「食べる機能の低下」などに取り組むことが必要になってきている。このような時期に平成17年3月、文部科学省編『「生きる力」をはぐくむ学校での歯・口の健康づくり』指導参考資料集が発刊された。この参考資料の特徴は以下のごとくである。

- ① ヘルスプロモーションの理念を生かし、学習を通して自律的な健康管理が出来るような資質や能力を育成する視点を重視している。
- ② むし歯予防のみでなく、歯周病の予防、咀嚼などの口腔機能の健全な育成、歯・口の外傷の予防など幼児児童生徒の口腔保健の多様な課題を内容にしている。
- ③ 幼稚園、小学校、中学校、中等教育学校、高等学校及び盲、聾、養護学校の教職員のための資料とし、発達段階や障害等に応じた指導や管理ができるような内容としている。

現代の子どもたちの歯・口の健康課題に対し、その保健指導の内容を示した本資料を指針に、学校での実践活動を行うならば、以下のような成果が期待されよう。

- ① 治療や管理センターから、教育によって、個々の子どもの意識や行動を変え、自己の健康管理ができるようになる。
- ② ハイリスク児への個別の指導と管理が強化される。
- ③ 学校で保健主事や養護教諭など少数者に限らず、学級担任や家庭・地域を含め皆で子どもたちを育てていくように努める。
- ④ むし歯予防など歯・口に留まらず、幅広く心身の健康への関心を高め、全身の健康づくりへと発展することが出来る。
- ⑤ 学校歯科の取り組みを地域に広げることが出来る。

2. 指導資料集にみる健康教育重視の姿勢

学校歯科保健が歯・口腔の疾患の保健管理重視から健康づくりを目指す保健教育重視に転換が図られている証拠の一つとしてみられるのは、学校関係者向けの指導書である日本学校保健会発刊の最近の資料集をみると、

- 1) 「歯・口の健康と食べる機能(Ⅰ)」(平成11年)
- 2) 「生きる力をはぐくむ学校での歯・口の健康づくり、総合的学習の時間で何ができるの」(平成14年)
- 3) 「歯肉の状態から健康づくりを考えよう」(平成16年)

- 4) 「歯・口の健康と食べる機能(Ⅱ)」(平成17年)などが発刊されている。

また、日本学校歯科医会が発刊する学校歯科医向け指導資料集をみると、

- 1) 「学校歯科医のためのスポーツ歯科医学、子ども達が健康で安全にすごすために」(平成15年)
- 2) 「健全な口腔機能の育成のための指針」(平成18年)

などを発刊し、学校歯科医への健康教育重視の姿勢への啓発に努めてきている。

3. 「歯・口の健康づくり」と食育の意義

平成18年度日本学校歯科医会は、現代の国民的運動にもなっている「食育」を学校歯科保健活動のなかで啓発し、展開するための方策を検討するため、「食」の検討臨時委員会を立ち上げ、学校歯科医が学校での食指導を行うための指針作成に向け検討中である。

1) 歯・口腔疾患と「食」との関係

健康教育の中でもとりわけ「食」は、生活に密着したものであり、身近な生活における課題があふれている。「食」は総合的な学習の時間や、児童生徒の興味・関心に基づく課題、地域や学校の特色に応じた課題、総合的な課題として取上げられる。食育とは、「一人一人が自らの食について考え、判断できるようにすること」と定義することができる。食教育は、単に健康教育の枠に留まるものではなく、「環境問題」、「国際理解」、「日本の伝統的な食文化」を理解し継承するなど、豊かな人間性や社会性を滋養するものである。

歯・口の疾患であるむし歯や歯周病の発生にとって、食物はその原因になる歯垢の素材になるという点で、直接的に関わっている。また、食事・間食をどのように食べるかという食習慣により、口腔環境に影響し、それが疾患の発生に強く関わっている。したがって、子どもの歯・口の疾患の予防をはじめとする健康教育にとって、いかに食育が重要であるかが理解される。

2) 「食べる機能」と「食育」

平成7年度、日本学校保健会は、児童・生徒を対象に、食物の食べ方に関する全国調査を行ったところ、咀嚼の低下など口腔の機能を十分に生か

した食生活が営まれていない実態が明らかにされている。「食べること」は、生きる意欲(力)にも関係しており、とくによく咀嚼することは、多種多様な食物を摂ることによって、どのような環境変化にも適応し生きる意欲(力)の源となる。とくに近年では咀嚼することが全身および口腔の健康増進に役立つことが科学的に実証されてきている。

「咀嚼の育成」を健康教育に導入することには、以下の目的・意義がある。

- ① 近年、咀嚼など口腔機能と全身の健康とが深く関わっていることが科学的にも明らかにされ、「よく咀嚼すること」が、健康やQOLにとって重要であることを理解することが必要である。
- ② “歯・口が健康であること”の目的・意識が明確になる。
- ③ 食物と咀嚼との関係を知ること、日常食べている食物の自己評価が新たに加わり、さらに栄養的な評価をも知ることになる。
- ④ 食物を課題にすることは、歯・口の健康に限らず、全身の健康問題に直接・間接的に関係し、広がりをもつ。
- ⑤ 咀嚼の育成は、日常生活のゆとり、家族関係など生活全体を見直すきっかけとなる。
- ⑥ 高齢者を含む家族全体の共通の認識が得られ、問題として捉えられる。

今後、学校歯科保健活動における健康教育の中心的な課題が、幼児児童生徒の「食べる機能」の育成支援になろう。

ネパールは衛生的なトイレが少なく、水不足や衛生知識の不足により手洗いは不十分である。また、毎日の歯磨き習慣も乏しく、地域や学校における健康教育や実践指導等の援助が必要である。昨年夏にネパール・ポカラの山村地域の学校を訪問したのでその様子を紹介したい。その地域ではNPOが介入し、子どもクラブ・地域の保健担当者・先生達の収容できる能力の建物、建設資金の確立、国家的衛生行動週間の賞賛、学校に飲み水やトイレの設備改善、子どもクラブによる学校衛生向上、衛生教育の導入と実践が部落全体の衛生活動へつながる学校を目指した活動が行われた。

子どもと婦人の地域活動の戦略結果は、①人口の75%が改善された飲み水の水源に頼れる。②地域の146小学校で安全で適切な飲み水施設となる。③浄化の実践施設が75%可能である。④146校で男女別々のトイレと手洗いがもてる。⑤適当な水と清潔さ、職員や子どもにやさしいトイレが得られる。その達成結果は、①

海外ニュース

ネパール山村部落の 学校保健活動から 保健環境改善へ

兵庫大学健康科学部看護学科
地域看護学・学校保健助教授

辻 立世

健康と衛生の重要性に気づく。②毎日学校へ行く生徒数（特に女子）の上昇。③75%以上の地域の人々が健康と衛生の実践の大切さに気づく。④学校と地域の衛生環境における効果的な改善。⑤地域における感染性疾患を減らす等が認められた。子どもクラブと婦人の活動は地域の健康改善戦略に成果を上げたといえる。日本でも生涯の健康に繋ぐために学校保健と地域保健の連携が進められているが、教育の大切さを改めて感じた。

翌日は、日本人シスターの紹介でポカラ村落部の私立小学校で、午前は児童に手洗い・歯磨きを、午後は保護者に子どもと同じ実習を行った後、手洗い・歯磨き等を中心に生活習慣に関する保健指導を実施した。私学の保護者は健康面にも関心が高く、よく噛む事は脳の働きによいとか、日本では歯の衛生の自主管理ができる子どもは日常生活や勉強にも通じる等への反応は良かった。この小学校でも子どもから地域への衛生週間の改善が広がることを期待し、実施したものである。

簡単に作れて楽しく演じられる可動式ペープサート

楽しい歯のおはなし 動くペープサート

— 保育所・幼稚園・小学校編 —

佐々木 妙子 著

- ◆ シート20枚
- ◆ 備品：割ピン12個・マジックテープ4セット
- ◆ 作り方小冊子
 - * 組み立て方や指導スケジュール例、演じられる台本などが収録されています。
- ◆ 定価 3,570円（本体3,400円＋税）
- ◆ 送料 450円 ISBN4-89605-212-9

お申込先 (財)口腔保健協会販売係
TEL：03-3947-8301 FAX：03-3947-8073

* 著者の佐々木妙子先生への講演、ペープサート製作セミナー依頼のご相談は、口腔保健協会販売係まで。

手作り感覚で楽しく歯科保健指導ができる補助ツールです。付け加え・取り外し・手の動きなどいろいろな状態の表現ができ、噛むことや歯の大切さを理解させることに役に立ちます。



切って組み立てると
このようになります！



子どもとメディア インタビュー

「ごっこ」に及ぼす メディアの影響

乳幼児期から
すくすくはじまっている



清川 輝基氏

NPO法人子どもとメディア
代表理事
NPO法人チャイルドライン
支援センター代表理事
日本子どもNPOセンター
常務理事

自分が忙しいからとアニメビデオを子守役にあてがった覚えはありませんか。いまやゲームといえば、トランプも将棋もテレビゲーム、恋愛までもモニター相手のシュミレーションゲーム。実際のコミュニケーションといえばPCや携帯電話でのチャットや掲示板、メール…。インターネットやゲームと一緒に育った子どもの「こころ」の問題を、今年度の全国学校保健研究大会で「子どもが危ない！ “メディア漬け”が子どもを蝕む」の講演をいただいた清川氏にお話を伺いました。そして、今年で8回目を迎えるチャイルドラインのフリーダイヤル全国キャンペーン。チャイルドラインとは…

メディア漬けの中で子どもが失ったもの

人は人の中で育って人になるといいます。今の子どもが昔の子どもと一番違っているのが、「人の中で育っていない」ということです。今の日本の子どもたちは、乳児期から幼児期にかけてテレビ、ビデオ、ゲーム、パソコンなどのメディアに接する時間が、数十年前に比べて格段に増えています。子どもたちだけではありません。母親は子どもに授乳しながらテレビを見ている、父親は仕事から帰ってきてもパソコンやゲームに夢中で子どもと遊ばない、食事中も一家でテレビに夢中で口もきかないというようなことがあります。生育の過程で生身の人間とぶつかる時間は減る一方です。そういう環境の中では、子どもの心に二つの問題点が発生します。

一つには、極めて攻撃的なシーンに刺激されて、攻撃することを快感ととらえて育っていくという側面があります。典型的なのが戦闘ゲームです。人を何人やつつけようが怪物を何匹やつつけようが、相手は痛くもかゆくもありません。相手を攻撃することへの抵抗感が育たないし、まして自分の痛みとして想像するようなこともありません。

もう一つは、耐性が育たないということです。電子映像メディアは、たとえ形式的に自分を攻撃

したとしても、実際に痛みは感じませんし、嫌になれば切ればいい、使わなければいいというものです。この世界の中では嫌なことを経験しません。そのため、嫌なことに耐える、あるいは回避すべく努力をするという感性が育たないのです。

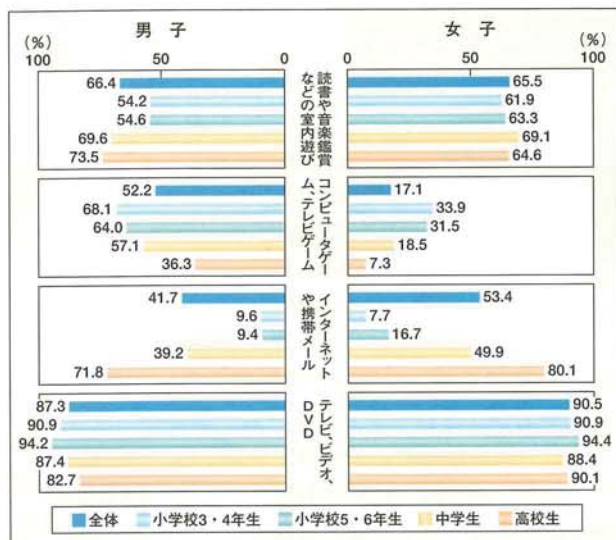
メディア漬けのもう一つの弊害は、脳と身体に対する悪影響です。

例えば、言語形成期に言葉を発する機会が少なくなり、言語能力が未発達になるということ。言語は聞くだけでは絶対獲得できません。言葉のキャッチボールをすることによって発達します。結果、言葉によるコミュニケーションが行えずに、追い詰められて暴力に走るという現象が起こります。また、幼児期の脳の神経回路が出来上がる過程で電子映像メディアに長時間接していると、前頭前野という感情や欲望にブレーキをかける部分が育ちません。ブレーキがかからないから、極端な例では犯罪に走ってしまいます。目の働きもたがたですね。平面画面を見続けていると人間は効き目しか使わないので、左右の視力差が出てしまい、いわゆるガチャ眼になります。また、立体空間を走り回る機会が極端に少ないと、筋肉も自律神経も育ちません。平熱が35度台なんていう子

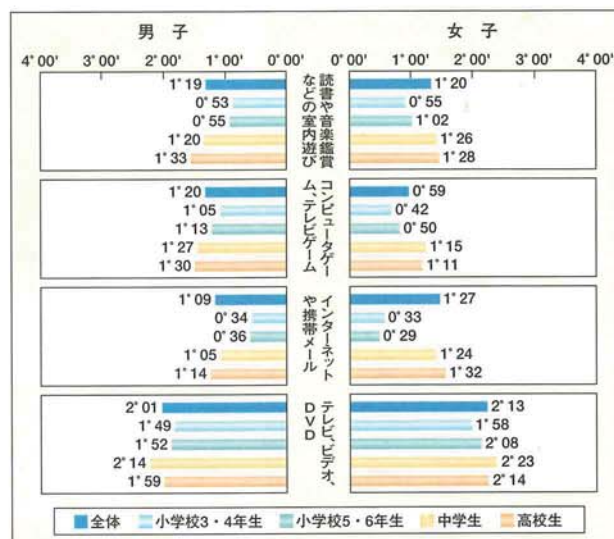
がごろごろいます。学力低下も、脳のワーキングメモリーが働いていないことが原因の一つになっています。大人でも、パソコンで情報を取り入れてわかったような気になっているかと思えます

が、画面だけを見てハードコピーに取らなければ、すぐに忘れてしまいます。人間の脳はそうようにできているのです。

これらの弊害は脳科学で解明されつつあります。



学校から帰宅後、室内でどのように過ごしたか
(H.16児童生徒の健康状態サーベイランス事業報告書より)



学校から帰宅後、室内で過ごした各時間の平均値
(H.16児童生徒の健康状態サーベイランス事業報告書より)

メディアリテラシーを軽視する国・日本

「NPO子どもとメディア」では、3年間の実態調査と実践的研究の結果に基づいて2003年に子どもとメディアに関する5つの提言を発表しました(※表1)。これは特に保護者の方々に気をつけていただきたいと思えます。子ども部屋にテレビ、パソコン、ゲーム機があったら、子どもは悪い方向へ向かうと思ってください。そうした環境にいる子の中には、休日に十数時間メディアに接しているという例も報告されています。

家庭のみならず、学校でも授業の一環でパソコンを与えるようになっていますが、これは決して子どもの成長のために行ったことではなく、経済産業省の役人が言い出したことです。経済政策、景気刺激策なんです。普及台数は多くなる、代金の取りはぐれはない、こんないい商売はないというわけです。

先進国の中で、メディアリテラシーをきちんと行わずにまったく無防備に子どもたちをメディアに触れさせる国なんて日本だけです。親は学校で習ったことの復習などと、家庭のパソコンを勝手

- | | |
|---|--|
| 1 | 子どもの生活時間の中で、メディアに費やす「総時間」をコントロールしましょう。 |
| 2 | とくに危険可能性が懸念される乳幼児のメディア漬けを、やめる取り組みを広げましょう。 |
| 3 | 主体性を持ってメディアを選択し、判断し、発信する力を養うメディア・リテラシーを、子どもも大人も身につけましょう。 |
| 4 | 子どもとメディアの“新しい関係”を求めて、広くネットワークをつくり、協働してさまざまな研究と実践活動を進めましょう。 |
| 5 | メディア漬けから抜け出して、遊びや仲間関係づくり、自然体験や文化活動などの生き生きとした生活を広げましょう。 |

〈表1〉子どもとメディアに関する5つの提言
(NPO子どもとメディアが3年間の実態調査と実践的研究の結果に基づいて2003年3月に発表した提言)

に触らせていると思いますが、有害サイトのフィルタリングも行っていないようなパソコンで、子どもは何を見ていると思いますか。子どもがどんなに危険でいかがわしい世界に入り込んでしまっているか、もっと実態を知るべきです。

今、大人ができることは何か

多くの教育機関が危機感を持っていないか、持

っていても方策がわからないかですが、長野県駒

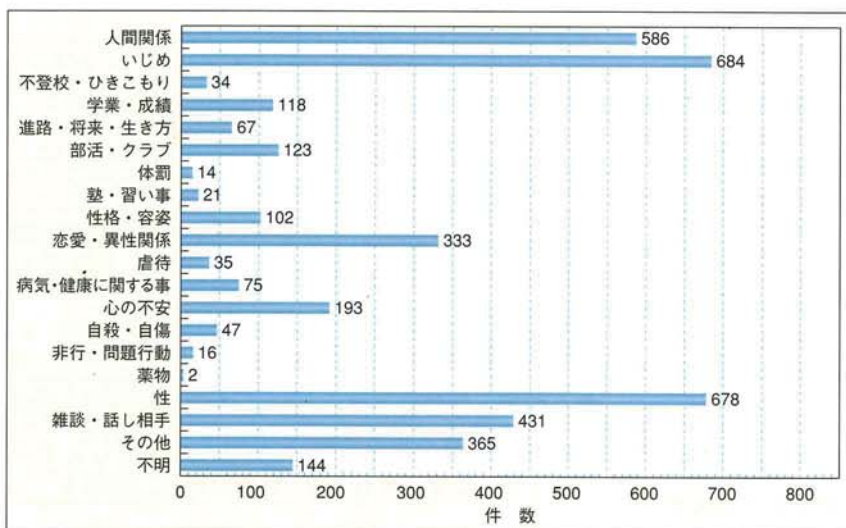
ヶ根市のように教育委員会が五歳児検診も取り入れた乳児健診を行うなどの取り組みは、実に有効なことです。なぜかという、子どもは小学校に上がる時にはもう結果が出てしまっているのです、それ以前にメディア漬け対策を講じる必要があるからです。就学前健診では間に合わないし、三歳児健診では発見できません。乳児期の親たちをどう啓発するかということが学校保健のベースになるのです。地域の学校医や保健士、養護教諭がどれだけ働きかけるかは非常に大きい。そのためにはこれらの例のように、一体化した機関が子ども一人ひとりのレポートを作って、中学に上がるころまで申し送っていくことが大切なのです。

残念ながら、現状をすぐに変えることはできません。チャイルドラインの活用、メディア漬けからの解放、これは緊急避難的対策です。最終的には大人が豊かな人間性を持つように変わることです。徳目が大事だ、親のいうことを聞く子に育て

ろなどといいますが、「大人はすごいな」と子どもが心から思わなければ無理です。命についても、言葉で命が大事、大切、と百万遍言っても、バーチャルな命しか知らず、本物の命の手触りを知らない子には、一つも心に響きません。

日本は戦後の荒廃の中、ライフライン、基盤整備を必死で作ってきました。それは確かに必要なことでした。しかし、高度経済成長がひと段落したとき、本当は、企業優先、儲け優先という価値観を撤回しなければいけなかったのです。それをしなかったから、子どもたちまで「心や命より物、金が大事」と考えるようになってしまったのです。

戦後60年かかってこうなったのですから、やはり修復には長い年月がかかります。今の子どもたちが、豊かな自然に囲まれ、人や命を尊重するという体験を繰り返す中で、何が大事なのかということを実に学べたら、その子たちが親になったときやっと子育てが変わるのだと思います。



人間関係	586	虐待	35
いじめ	684	病気・健康	75
不登校・ひきこもり	34	心の不安	193
学業・成績	118	自殺・自傷	47
進路・将来・生き方	67	非行・問題行動	16
部活・クラブ	123	薬物	2
体罰	14	性	678
塾・習い事	21	雑談・話し相手	431
性格・容姿	102	その他	365
恋愛・異性関係	333	不明	144

2006チャイルドライン秋のキャンペーン内容別の集計（2006年11月6日～12月5日、無言・問い合わせ等を除いた4,068件の電話データより）

でんわ ひとりではなやまないで

電話だから ナァ フム フム フム

話せるね! **0120-7-26266**

待ってるよ **2007年「子どもの日チャイルドライン」**

全国キャンペーン

5月5日(土)～11日(金) 15時～21時

★子どもたちへのご案内にご協力ください★ チャイルドラインは匿名でかけられます。

「受け手」と呼ばれる専門の研修を受けたボランティアが対応し、教え諭す電話ではなく、辛いと感じる子どもの想いに寄り添うことを主眼としています。 NPO法人チャイルドライン支援センター

時代に必要とされ誕生した「保健主事」これからの役割と方向性

千葉県高等学校保健主事会の研究の歩みを通じて

千葉県高等学校
保健主事会

1. はじめに

保健主事が学校保健の企画、調整にあたる人材として、昭和25年(1950年)から学校に置かれるようになり、本年で56年が経過した。この間、保健主事は健康教育の充実を図るため、その役割を担ってきた。

近年における生活様式の変化は、生徒の心身の健全な発育、発達に様々な影響を与えている。これら生徒の心身の課題は、いずれも学校のみで解決することは難しく家庭や地域との連携が重要である。そのため、改めて保健主事の役割が重要視されている。

本県高等学校保健主事会は、保健主事の役割が学校教育に課せられた重要な課題と受けとめ、昭和30年代後半に発足した。そして、その活動内容、研究報告を中心として毎年発行している機関誌「そうよう」は本年で第38号を数えている。

今回は、学校保健活動の要としての保健主事の歴史的な側面をふまえ、本県高等学校保健主事会の研究を通して保健主事の一層の向上について述べてみたい。

2. 保健主事に関わる研修の現状¹⁾

(1) 文部科学省主催の保健主事研修

昭和46年から校長、保健主事、養護教諭を同時に対象とした「学校保健講習会」を実施。昭和49年からは校長、保健主事のみを対象として「学校保健研究協議会」として実施。そして、昭和60年には参加者の限定はなくなり「学校保健研究協議会」となり63年まで実施された。その後、「健康教育研究協議会」及び「健康教育指導者中央研修会」が実施され、平成16年より「健康教育指導者中央研修会」と「エイズ薬物乱用防止教育研修会」とがひとつとなり「健康教育の推進のための指導者の養成を目的とした研修」として現在まで行われている。

(2) 千葉県の場合(高等学校)

- ①総会及び研修会年1回 ②薬物乱用防止教育研修会
- ③エイズ教育研修会 ④学校保健研修会
- ⑤保健主事実践発表会

その他に各ブロック研修会を開催。役員会を年6回。

3. 千葉県高等学校保健主事会の研究

本県高等学校保健主事会は学校保健活動に対する認識を高め健康課題解決を図るため研究実践を「そうよう」という機関誌にまとめ毎年発刊している。内容は各ブロックの活動事例や各種研修会参加報告及び研究部の活動報告などで本年は第38号を発刊した。

また、研究部では平成15年度から3年間をかけて保健主事に対するアンケートを実施して、継続的に調査研究を進めている。今回は学校、家庭及び地域社会と密接な連携を図り、児童生徒の心身の健康を保持増進するために重要な役割を持つ「学校保健委員会」に注目して、下記の内容を取り上げた。

15年度：学校保健委員会の設置について実態調査

16年度：設置が困難な理由と設置に向けての課題

17年度：千葉県高等学校版「学校保健推進マニュアル」の作成

(1) 平成15・16年度の調査より^{2・3)}

①学校保健委員会設置率について

小中83.0%に対して高校16.0%

②養護教諭が保健主事を兼務

小中47.5%に対して高校28.0%

③「管理職の学校保健に対する意識は高いと思うか」に「そう思う」が小中55.5%に対して高校35.4%

④「具体的な学校保健活動を全職員が理解していると思うか」が小中37.4%に対して高校12.5%

⑤研修の参加を困難にする理由、1位61.2%「時間の確保ができない」、2位35.7%「自分自身に心の余裕がない」、3位31.2%「自分自身に熱意使命感が不足」

⑥どんな研修を期待しているかでは、「性、エイズ、喫煙、飲酒、薬物乱用防止」といった具体的内容や指導法、「救急処置や救急体制」などが上位にランク。注目すべきは、保健主事自身が「意識の変革」「物事をプラスに考える」「心と体がリラックス」といった今までにない内容を期待していた。

(2) 学校保健委員会を立ち上げるために

「保健主事の手引」⁴⁾には保健主事の役割として以下の6項目が示されている。

1. 学校保健と学校教育全体との調整に関すること
2. 学校保健計画の作成とその実施の推進に関すること
3. 保健教育の計画作成とその適切な実施の推進に関すること
4. 保健管理の適切な実施の推進に関すること
5. 学校保健に関する組織活動の推進に関すること
6. 学校保健の評価に関すること

本会は、以上の内容をより具体的な活動に結びつけ以下のように考え提案する。

①保健主事の守備範囲(学校保健)を理解する

②校内の実態を把握、何が問題か分析する

③①②の中で実現可能な事柄、不可能な事柄の選別を

する

- ④実現可能な中で、すぐ可能な事柄、1年以内に可能な事柄、数年あれば可能な事柄を選別
 - ⑤養護・管理職との連絡調整(実現に向けての協力依頼)
 - ⑥職員会議にて全職員に理解を求める
- *無理なく、自分の出来る範囲、柔軟な発想で。

●千葉県高等学校保健主事会より提案

「学校保健委員会を立ち上げるための5つのステップ」⁵⁾

ステップ1：準備期

- ①自分自身のモチベーションを高める
- ②最新情報のキャッチ (他校の情報・ネット利用など)
- ③養護教諭との連携 (意志を伝える)

ステップ2：確認期

- ①管理職、他の教員、保護者へ対しての働きかけ
- ②学校医その他への協力依頼
- ③継続的な資料や情報の提示 (裏づけのため)

ステップ3：タイミング

- ①問題点の指摘
- ②校内での意識の高まりを冷静に見極める
- ③委員会開催の提案 (年間計画に入ればOK)

ステップ4：活動

- ①内容及び日程の決定(生徒の実態、保護者の関心を意識する)
- ②学校医その他への内容の確認
- ③保護者あて文章の作成

そして実際に「学校保健委員会の実施」

ステップ5：評価・報告

- ①次回へつなげるための努力(問題点、意見、アンケート)
- ②次回の日程調整 (次回を提案してしまう)
- ③報告書の作成及び配布 (参加しない保護者に対して)

4. 保健主事に関わる今後の問題

①校長の選任の問題

(保健主事は職でないため発令は任命ではなく校務分掌を命ずる職務命令となる)

- ・適任者を選任できているか (適材適所)
- ・本人の同意を得て選任しているか (やる気・意欲に関係)

②選任期間の問題

- ・校内事情で短期間になっていないか (責任なくなる)

③兼務の問題

- ・初めから時間がないとあきらめていないか
- ・守備範囲が広すぎて活動が停滞していないか

④養護教諭との問題(養護教諭が兼務をしていない場合)

- ・綿密な連携がとれているか
- ・専門職である養護教諭と保健主事との比較すること自体が間違いではないか

5. 「保健主事」を今以上に活性化させるための提言

①学校保健に対する理解を広げるために

- ・「管理職」「一般教員」を対象とした「学校保健」理解のための研修の実施

②保健主事を対象とした研修内容について

- ・「新任保健主事研修」の早期の実施(基礎基本の徹底)
- ・保健主事個人が、学校保健に対しての基礎知識に差があるため、各個人のニーズに合った研修の開催(年間複数回、養護教諭の研修との重複も)

③保健主事の選任について

- ・事前に打診。実行力のある保健主事は継続的に選任(やる気の確保、本人及び管理職の理解があること)

④養護教諭、保健主事の職務の融合を意識しての研究が、早急に行われるべき(本会研究部で活動中)

⑤学校現場の実態に即した、学校保健推進のためのマニュアル作成(本会より平成18年5月、第1号発行)

6. まとめ

保健主事は、時代の要請を受け誕生したが、今以上に健康教育(学校保健)の充実、強化が求められている。そうした学校現場の現実を理解した上で学校内外を含め「健康教育(学校保健)に関わるメンバー」の全てが“自分の与えられた立場、時間の中で何を確実に実行するのか”を今一度、問い直さなければならないのではないか。「誰かが何かをしてくれる…」ではなく「自分は何ができるか!」を真剣に考えるべきではないだろうか。

本県において、平成18年4月に小・中・高・盲・聾・養護学校の1,418校すべての保健主事を束ねた研究部(千葉県保健主事会研究部)が正式に発足した。これから保健主事の資質向上のため継続的な研究を行い、情報の発信に努めていく。

また、本県高等学校保健主事会では県内外の学校現場で実際に行われている実践例などを瞬時に伝える事ができるシステム(保健主事に関するホームページ)を平成18年8月に立ち上げた。

【<http://sc.ice.or.jp/hokensyuji/index.php>】

是非この機会に、多くの実践例の共有化、情報交換などをしていきたいと考えている。そして、多くの先生方と連携しながら本県としても確実な前進に結びつけていきたいと考えている。

(文責 千葉県立船橋法典高等学校 国吉恵一)

【引用・参考文献】

- 1) 国吉恵一：2002 保健主事の研修の現状と課題に関する研究(茨城県下の高等学校の保健主事を対象とした調査結果の検討を中心に) 筑波大学大学院修士論文
- 2) 千葉県高等学校保健主事会：2003「そうよう」36号
- 3) 千葉県高等学校保健主事会：2004「そうよう」37号
- 4) 日本学校保健会：2004 保健主事の手引(三訂版)
- 5) 千葉県高等学校保健主事会：2005「そうよう」38号
(学校保健推進マニュアル掲載号)

「健康教育をささえる」 ～保護者の取組から～
埼玉県越谷市学校保健会



平成
18年度

平成18年度 PTA部会研究実践発表会

埼玉県越谷市学校保健会では、構成組織のひとつにPTA部会があり、その活動として市内の小中学校から1校ずつ、各校のPTAが行った健康教育実践を発表する「PTA部会研究実践発表会」を行っています。平成18年度は1月17日、越谷市立図書館に市内44校のPTA役員が集まり、同市立新方小学校(木村正彦校長、川上京弥PTA会長)と武蔵野中学校(藤原一夫校長、河上繁PTA会長)がそれぞれの実践結果を発表しました。

「Sound Sleep
～健やかな眠りのために～」

越谷市立新方小学校

同校PTAでは、「眠り」を身近な問題として捉え、児童の眠りについての実態調査と意識調査を実施しました。

実態調査は7月の月曜日から水曜日までの3日間、各家庭の就寝・睡眠時間と「TV&ゲーム」、「夕食」の時間、翌日の朝食摂取の有無を記録、最後にコメントを記入する「睡眠チェック表」を配布。結果を以下のようにまとめています。

1. 全体的に「早寝(早起き朝ごはん)」が推進されている。
2. 睡眠時間は、全学年を通し、21時過ぎに就寝する割合が高く、学年が上がるにつれて、その傾向が強い。
3. 時間が遅くなる理由として、「習い事」「親の仕事」を自覚できる理由としてあげているケースが多い。
4. 親が先に寝るというケースは稀である。
5. 反省しているコメントでは、「夕食をとりながらテレビを観ている」「夕食の時間が遅い」などが多く見られた。

6. チェック表を記入するということで、その間だけでもちゃんとしようと、生活を見直した家庭も多かった。

意識調査では、表Aのアンケートを実施。その中で、子どもの朝型・夜型は親の影響によるところが大きく、しかし、241名中220名の家庭が、「就寝時間を決めている」「夕食・入浴を早める」など子どもの睡眠に対して気配りをしているという結果が出ました。

表A

「子どもの寝りは朝次第」	
保護者意識調査	年 組 (男 女)
1 朝型、夜型どちらですか？ [朝型] 朝型、夜型、わからぬ [夜型] 朝型、夜型、わからぬ	

これらを踏まえ、同校PTAは、1週間の睡眠時間が眼で見て確かめられる「睡眠日誌」を推奨、小冊子の巻末には「早寝早起き朝ごは

表A

「子どもの癇りは数次第」

保護者意識調査 年 組 (男/女)

1 類型、数度とらですか？
(○) 典型 類型 わかりない (子ども) 典型 類型 わかりない

2 癇つきは良いですか？
(○) 良くない 良い わかりない (子ども) 良くない 良い わかりない

3 言葉の悪いですか？
(○) 良くない 良い わかりない (子ども) 良くない 良い わかりない

4 睡眠時間は足りていますか？
(○) 不十分 十分 わかりない (子ども) 不十分 十分 わかりない

5 睡眠不足でぐらぐらすることありますか？
(○) よくある とときどきある ない (子ども) よくある とときどきある ない

6 睡眠不足でぐらぐらすることありますか？
(○) よくある とときどきある ない (子ども) よくある とときどきある ない

7 子どもの睡眠に対して気配りをしていますか？
(○) していない している とときどきしていない

8 どんな気配りをしていますか？ 夕食を早くする・下りの時間を決めている。 etc
[]

9 睡眠は大切だと思いますか？
無気 大切 どちらともいえない

10 睡眠は楽しみですか？
楽しみではない 楽しみ どちらともいえない

Q: 最後におきます、お子さんの癇りは、何に一番影響されていると思いますか？

「子どもの癇りは」 次欄 第1-児発-その日のテレビ etc

「睡眠チェック表」「子どもの癇りは数次第アンケート」共にご協力ありがとうございました。

2枚と、7月14日(金)に返信へ必ず出すお願いします。



トマトの苗木プレゼントのお知らせ



カゴメ株式会社の御協力により、昨年同様トマトの苗木をプレゼントします。小学校を対象に、トマトの苗木を育て、収穫して食べてもらい、にがてな野菜を克服するという趣旨で企画しました。

1校につきトマトの苗96本又は48本をお送りします。FAXで、①学校名②担当者名③住所④電話番号⑤FAX番号⑥希望苗数(96本又は48本)をご記入の上、下記までお申込みください。各校へのお届けは、4月中旬から5月中旬の予定です。数に限りがありますので、お申込み多数の場合は先着順とさせていただきます。当選校には、事務局よりFAXにてお届け日をお知らせします。

F A X: 03-5148-2157 カゴメ「トマト苗プレゼント」学校保健係
お問合せ: 0120-047-831 (受付9:30~17:00 土・日・祝日を除く)

ん」のススメとして、「簡単朝ごはん」のメニューとあ

わせて掲載をしています。

「STDってな～に？」

越谷市立武蔵野中学校

同校PTAでは、エイズに着目したところからSTD（性感染症）全般におよぶ健康課題へと発展させました。調査はアンケート形式で6月に実施・集計、また、埼玉県立大学保健医療福祉学部の高田恵子先生を迎え、7月に1年生を対象とした親子学習会「一緒に考えよう！ 私たちの性」、10月には「私たち親が信頼できる相談者になろう」をテーマに保護者対象講演会を開催しました。

アンケート調査は、子どもたちの実情を把握する目的で保護者用と生徒用の2種類（表B）で実施、親が思っている子どもの印象と子ども自身の意識との比較、性感染症に対する親子の認識度などをまとめました。その中で「性感染症の種類別認知度」では、エイズ以外の性感染症について、子どもたちはほとんど知らず、保護者でも「よく知っている」という数値は高くない結果が出ています。（例：図1）

同校PTAでは、この実践を通じ、性と性感染症に関する教育への意識が高まったといいます。親としてど

う子どもと向き合うか、家族でのコミュニケーションの大切さ、子どもが悩んだときに相談されやすい親でありたいとまもめています。



武蔵野中学校の実践発表

表B

【「性」に関するアンケート（保護者用）】
お子さんは()年生 男子 女子

()の中に○をつけたり、記入を○して下さい。
お子さんと同じ質問をしています。お子さんと話し合っていないで記入下さい。

1 お子さんは「性」という言葉から、どのようなことをイメージすると思いますか。
(a) うれしい (b) うれしい (c) 楽しい (d) 悲しい
(e) 怖い (f) 怖い (g) 恥ずかしい (h) 必要

2 お子さんは「性」に対して興味や関心があると思いますか。
(a) あると思う (b) あると思わない

3 お子さんは「性」に関する事で悩んでいることがあると思いますか。
(a) あると思う (b) あると思わない
「あると思う」と答えた人だけ それほど悩んでいると思いますか。()

4 お子さんは、カレンシ、カノジョが欲しいと思っていると感じますか。
(a) 欲しいと思っていると感じる (b) 欲しいと思っていないと感じる

5 お子さんにカレンシ、カノジョができた時、親に話してくれると思いますか。
(a) 話してくれると思う (b) 話してくれると思わない

6 お子さんにカレンシ、カノジョができた時、今までのような付き合い方がいいますか。
(a) 電話 (b) 手紙・メール・ネット (c) 2人きりで話す (d) 2人で食事・下校
(e) 1人でデート (f) 家族や友達に紹介する (g) 親生母などにプレゼント
(h) 手をつないで歩く (i) 車や電車に乗る (j) 車に乗る (k) 一緒に寝る・抱き合う
(l) セックス (m) 結婚 (n) その他

7 親子で「性」の話をすることがありますか。
(a) はい (b) いいえ
「はい」の方、それはどのような時ですか。またはそのきっかけは。()

8 テレビを見ていて性のかわどけいシーンの時、あなたはどのようにしていますか。
()

9 あなたは「STD」という言葉を知っていますか。
(a) はい (b) いいえ

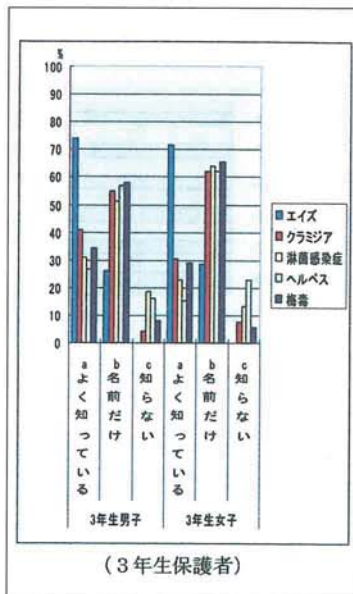
10 次の病気を知っていますか。a・b・cの中から選んで下さい。
(a) よく知っている (b) 名前だけなら知っている (c) 知らない
ア エイズ a b c
イ クラミジア a b c
ウ 淋菌感染症 a b c
エ 梅毒 a b c

11 今現在エイズ感染の怖さは、昔に比べて減っていると思いますか。
(a) 減っている (b) 減っていない (c) 増えている

12 「性」に関する講演会がありましたら、参加してみたいですか。
(a) はい (b) いいえ

ご協力ありがとうございました。

図1



取材を終えて

両校とも今回の発表資料で作成した小冊子は各家庭へ配布、新方小学校では6月に発表会を予定しています。

しかし、現代の健康課題は「いじめ」や生活習慣病など心から体にわたり、ますます深刻化、複雑化しています。新方小学校のまとめの中には、「まず変わらなければならないのは、私たち大人といえるでしょう」という言葉がありました。これは本会報265号掲載の「いじめ・自殺の緊急提言」で、チャイルドライン支援センターの牟田悌三代

表は同じことを語っています。また、文科省がすすめる「早寝早起き朝ごはん」全国協議会の副会長でもあり、服部栄養専門学校の服部幸應校長は、「食育」の観点から家庭での生活習慣や食卓が占める重要性を指摘しています。（本会報264号および今号別刷参照）

本会は、子どもたちが心も体も健康に成長できるよう健康教育の普及・啓発に務めています。これからは学校だけでなく、保護者・地域との連携に役立つ学校保健会として、PTA活動や地域での取組など様々な場面で活用ください。



子どもの『靴原病』を防ぎましょう

Point 4

JES環境効果

地球の健康も考え、使用済みの靴底を回収して、新しい上履きを作り直す「上履きのリサイクル」システムを完成しました。

Point 3

JES吸圧効果

カカト部分の衝撃吸収材は大きなデルタ形状。着地時の破壊的衝撃を吸収分散します。



Point 1

JES呼吸効果

靴底の通気孔は、足の発汗による熱気や湿気を放出します。

Point 2

JES教育効果

つま先が広く5本の指が自由に動かせるゆとり設計の靴型

足に合わない小さなクツや先の細いクツを履いていると足指が変形したり爪が痛くなったりします。
子ども達は、一日に5～7時間も、学校内で上履きを履いて生活しています。
子どもの靴原病を予防するために上履きを見直して下さい。

JESシューズは、足を科学することから生まれたスクールシューズです。



日本教育シューズ協議会

本部事務局/〒703-8258 岡山市西川原1丁目11番6-1号
TEL 086-272-5463 FAX 086-273-9439
http://www.jes.gr.jp/

21世紀の健康

倶楽部 **がくほ** **ブログ風ページ**

書き込み感覚でなんでも気軽に寄せくさい。
寄稿はお葉書、お手紙、メールで：
〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-3-17
虎ノ門2丁目タワー6F
(財)日本学校保健会「学校保健」がくほ倶楽部係
E-mail:kanky@hokenkai.or.jp

産前休暇までの道 ～守り続けられる命～

熊本県宇土市立宇土小学校 養護教諭 米井美紀子

結婚して7年、ずっと願ってきた新たな命。妊娠が確認できたと同時に切迫流産で入院、ベッド上安静。喜びを味わうよりも不安が一気に押し寄せてきた。

保健室のソファで手当の順番を待つ子どもたちの様子、保健室によく来る子どもの顔、多様な先生方の姿が脳裏に浮かぶ。「迷惑をかける」と思いながら電話した教頭先生と同勤の養護教諭から「おめでとう!」「赤ちゃんと自分のからだが一番、学校のことは心配いらない、しっかりと大事に」と言われ、ふっと力がぬけて喜びの涙がでた。この言葉とこころ“一番”は常に変わらず私がわかるだけでも数々の配慮、この対応がいつもありがたかった。

流産の心配、貧血や妊娠中毒症、ストレスや疲れからの張り、産休に入るまでも不安だった。しかし、その不安は宇土小の先生方の暖かな関わりで消えていった。自分や奥さん、親の経験を話して下さる方、私の代わりに重い物を運んで下さる方、無理していないかその度、聞いて下さる方、その先生方を見て同じように心配してくれる子、赤ちゃん元気?とお腹をさすってくれる子。妊娠中あらためて感じた事～自分の命であって自分だけの命ではない～という事。自分が知りえないところでも守り続けて下さった人や出来事について話ができるようこの命、大切に育てていきたい。ただ今6ヶ月、すくすく育っています。みなさまに感謝!

生活チェック表

「健康な心身」は日々の生活の中で育まれる。良い生活習慣を身につけて成績もアップ!

● 生活チェック表

項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
1. 朝の目覚め																				
2. 朝食の摂取																				
3. 授業中の集中力																				
4. 授業中の発言																				
5. 授業中の態度																				
6. 授業中の学習																				
7. 授業中の理解																				
8. 授業中の応答																				
9. 授業中の態度																				
10. 授業中の学習																				
11. 授業中の理解																				
12. 授業中の応答																				
13. 授業中の態度																				
14. 授業中の学習																				
15. 授業中の理解																				
16. 授業中の応答																				
17. 授業中の態度																				
18. 授業中の学習																				
19. 授業中の理解																				
20. 授業中の応答																				

※ 1. 授業中の態度、2. 授業中の学習、3. 授業中の理解、4. 授業中の応答、5. 授業中の態度、6. 授業中の学習、7. 授業中の理解、8. 授業中の応答、9. 授業中の態度、10. 授業中の学習、11. 授業中の理解、12. 授業中の応答、13. 授業中の態度、14. 授業中の学習、15. 授業中の理解、16. 授業中の応答、17. 授業中の態度、18. 授業中の学習、19. 授業中の理解、20. 授業中の応答

なんでも掲示板 保健だよりや給食だより、学校・地域でのイベント写真などにコメントを添えて送って下さい。

群馬県高崎市立八幡中学校 養護教諭 市川 真知子

本校では数年前の学校保健委員会の提案で、長期休業中に生徒の「生活チェック」を実施しています。今年度第一回の会議で内容を検討しました。夏休みの結果を一人一人のリーダーチャートに作成して返し、冬休みのチェックに生かしています。

第四回の学校保健委員会では「中学生と食」をテーマに、心によい食べ物について話し合いました。写真は生徒からの提案「リラックスタイムにおすすめ」の「コマ」です。

400件を超えるご応募ありがとうございました。

蒲郡市立塩津中学校、蒲郡市立形原北小学校、高松市立国分寺中学校、大泉町立西小学校、足立区立上沼田小学校、小牧市立北里中学校、岡崎市立梅園小学校、松浦市立青島中学校、静岡県立浜松北高校(定)ほかからの応募の中に、「へるすくん」「ぴーちゃん」「ヘルシーちゃん」などという名前があり、検討した結果、

「へるぴ〜」に決定しました。

※なお、PCソフト当選校10校の発表は、製品の発送をもって代えさせていただきます。また、抽選にもれた学校へは、P&G様のご厚意により各種提供品を進呈いたします。

パーセントイル发育曲線・肥満曲線が簡単に描ける

(財)日本学校保健会推薦

学校保健 健康管理支援PCソフト

著作者/加藤則子(国立保健医療科学院研修企画部長)

村田光範(東京女子医科大学名誉教授)

定価:2,700円(送料・税込)

販売委託(申込先)/勝美印刷(株)

http://www.shobix.co.jp/paru/

Tel. 03-5991-3741

担当者:小谷、根岸

E-Mail: negishi@shobix.co.jp



虎ノ門 (87)

感染症が変わった

最近の社会環境の変化は様々な世相でみられるようになった。四季の気候においても、離婚の増加や家族関係の痛ましい事件に象徴される社会生活など、多くの事象は嫌でも現実のものとなっている。一方で、学校をめぐる環境においてもいじめの増加とその極端さを見たとき、想像できない予想の範囲を超えていると思える。同時に子どもの身体の健康に密接する感染症にも変化がみられてきた。高病原性の鳥インフルエンザの流行はいま最大の重要案件であるが、昨今のノロウイルスがもたらした全国的な下痢・嘔吐を伴う腸管

感染症も予想以上であったし、咳が主症状のマイコプラズマ感染症も子どもに蔓延していて、診断と治療で問題を抱えた節があったといえよう。学校では予防すべき伝染病の範疇において処理されるが、その数、程度や感染力、潜伏期間により混乱する場合もあったと考える。主として子どもに多いとされている感染症が成人や老人に認められ症例も増えていて、従来とは違った印象もあり留意する必要がある。乳児、幼児、成人、老人の区分けも感染症ではあり得ないと思われる。すべての環境の変化の中でわが国が、美しい国であるためのインフラはモノでなく教育、とくに精神的な支柱となるべき健康教育にあるといたい。

(編集委員・専務理事 内藤 昭三)

編 集 後 記

昨年8月に茨城県で行われた全国学校保健主事研究協議会。いろんな方と意見交換をしている中である実践事例を知りました。今号ではそのひとつ、千葉県の実例を紹介しています。

本会発行の「学校保健委員会実践事例集～やってみませんか、こんな学校保健委員会～」では、その中の6割以上が食に関するテーマを扱っています。服部幸應先生が最初に「食育」の推進を働きかけて17年目、8年前の政府への提唱を経て一昨年、「食育基本法」が施行されました。ところが、料理教室＝「食育」と誤解している人が多く、最近の調査でやっと正しく認識している人が6割ほどになったそうです。

では、ほかの健康教育ではどうでしょう。

性教育にしろ薬物乱用防止教育にしろ、児童生徒の将来にまで影響を与える教育がどのような内容でどのように

教えられているか知っている保護者は極めて稀です。これはよほど学校を信頼しているか健康教育というものに無関心であるかのどちらかでしょう。

「食育」は食の安全・安心、選食、しつけのほかに食料自給率、世界の食糧事情などを学ぶとしています。バランスのとれた食生活は子どもの体を守り、適切なしつけや楽しい家族の食卓は子どもの心を安定させるということです。しかし、「食育」だけが健康教育ではありません。

本会報はこれまでの学校保健関係者ばかりでなく、保護者まで健康教育の輪が広まるよう企画から取り組んでいきます。また、先の保健主事の実例など今号までの記事掲載について、ご意見ご感想をいただければ、保健主事その他の資質向上にも役立ちますのでご遠慮なくお寄せください。

(編集委員長 林 眞示)

お知らせ

第26回 日本思春期学会総会学術集会

メインテーマ／「思春期の力—ささえ・まもり・つなぐ—」

会期／平成19年8月24日(金)～26日(日) 会場／東京慈恵会医科大学西新橋校講堂

(東京都港区西新橋3-25-8) 内容／各種講演、シンポジウムほか

事務局／東京慈恵会医科大学医学部看護学科

〒182-8570 東京都調布市国領町8-3-1 電話 03-3480-1151(内線2751) FAX 03-3480-4739

265号11頁の変更

平成19年度学校環境衛生・薬事衛生研究協議会

11月19日(月)、20日(火)

↓

11月29日(木)、30日(金)

シックハウスの
原因物質を
簡単チェック!

室内に置だけ!

ホルムアルデヒドを
検出すると黄色に変色!

ホルムアルデヒドテストストリップ



関東化学株式会社

試薬事業本部 試薬部 TEL: (03) 3663-7631

インターネットでも
商品の情報をご覧いただけます。
<http://www.kanto.co.jp/siyaku>

食べたら、楽しく歯をみがこう!

日本学校保健会推薦



6～12才までの
生え替わり用
©Disney



www.oralcare-lion.com

おかげさまで、
ハミガキをお届けして
110年。

くらしに夢をひろげる
LION

大塚製薬



抽選で10校様へ
ポカリスエット500ml
ペットボトル1ケースを
無料進呈します。

(財)日本学校保健会推薦



学校名、住所、TEL、ご担当者名、担当職、学校でのポカリスエットの活用方法
をご記入の上、下記「健康と料理社ポカリスエットプレゼント係」宛てにハガキ
でご応募ください。※当選発表は発送をもって代えさせていただきます。【応募
締切】平成19年4月末日【応募に関するお問合せ】健康と料理社〒102-0075
東京都千代田区三番町24林三番町ビル4F TEL 03-5275-6838/担当 河西

【商品に関するお問合せ】大塚製薬株式会社 TEL 03-3293-6111 <http://otsuka.co.jp/poc/>



むし歯のない社会へ。
ロッテ キシリトールガム

XYLITOL®

厚生労働省許可 保健機能食品(特定保健用食品)

(財)日本学校保健会推薦 (社)日本学校歯科医会推薦
ガムをかんだ後は紙に包んでくずかごへ。



学校保健用品総合メーカー

商品はお近くの販売代理店よりお求めいただけます

<http://www.sanwa303.co.jp/>

先生のアイデアから生まれた「伸縮式つ立」(財)日本学校保健会推薦商品

《エキスパンダースクリーン》

127～187cmに高さを自由に変えられ、移動と収納に配慮しました

- お部屋に合わせて選べる4色のパステルカラー
- 触れても汚れがつきにくい防汚加工済
- 普通に洗えるウォッシュابل対応布



カタログを
送付致します

- 保健室設備品
- 健康診断器具
- 救急処置器具
- 衛生材料 等

総ページ数
【416ページ】

～ Human Like ～

私たちはめくもりのあるモノづくりを目指しています 人が使うモノだから、優しくありたい…
人が使うモノだから、温かみを感じて欲しい… 使う人のために…と、私たちは常に考えます



0120-827-303 FAX03-5607-7812

【お問合せ】株式会社 三和製作所 医療事業部

発行者 (財)日本学校保健会
会長 植松 治雄
編集 会報「学校保健」編集委員会
委員長 林 眞示

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-3-17
虎ノ門2丁目タワー6階
電話 03 (3501) 3785・0968
FAX 03 (3592) 3898

頒価 1,000円 (年間購読)